

## 第8回 伊那市入札等検討委員会 会議概要

開催日時及び場所	平成23年8月4日(木) 午後1時30分より15時00分まで 市役所 庁議室			
出席委員	委員長	佐々木 隆	(大学教授)	
	副委員長	平島 史彦	(弁護士)	
	委員	飯島 匡和	(税理士)	
	委員	酒井 庄平	(公認会計士)	
審査対象期間	平成23年1月1日～平成23年5月31日			
抽出案件	工事	一般競争入札	3件	(備考)
		指名競争入札	0件	
		随意契約	0件	
	委託業務	一般競争入札	1件	
		指名競争入札	0件	
		随意契約	1件	
	合計		5件	
意見・質問		回答		
会議の概要	○ 委員の委嘱			
	○ 委員長及び副委員長の選任 委員の互選により、佐々木委員が委員長に、平島委員が副委員長に選任された。			
	○ 議事 (1) 審議 ア 建設工事等に係る入札及び契約状況の報告 事務局より、審査対象期間内の入札及び契約状況について報告した。 (資料参照)			
	イ 抽出事案の審議 5件の抽出事案について、事務局より説明し、委員により審議された。 (資料参照)			
議事の終了にあたり、議長が委員に対し、市長に対する意見具申の有無について意見を求め、無いことを確認した。				
○ その他 無し				

	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>議事 (1)審議 ア 建設工事等に係る入札及び契約状況の報告</p>	
	<p>○ 質問意見等なし</p>	
	<p>議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 1 「平成22年度 室町いきいき交流施設新築工事」</p>	
	<p>○ 発注標準ではD級業者は2000万未満となっているが、この入札において入札参加資格にD級業者が含まれているのはどうか。特例か。</p> <p>○ この入札が総合評価方式でない理由は。総合評価方式で行う基準はあるのか。</p> <p>○ 最低制限価格について、2番目に安い業者が86.4%の価格で失格となっている。仮に予定価格以下の応札者が5者未満であれば落札となっていると思うが、このような算定方法に問題はないのか。伊那市にとって無駄な出費を生まないか。</p> <p>○ 現在の最低制限価格の算定方法は、上限の設定を設けている。これは数社で協定すれば最低制限価格を90%まで引き上げることが可能ではないか。 このような算定方式は見直した方がよいのではないか。</p> <p>○ 現在の最低制限価格の算定方法は、とてもわかりにくい。わかり易い方法と公平感に留意して見直しを行って欲しい。</p> <p>○ 価格以外にも、累積受注高とか地域優先とか非価格要素を取り入れた入札制度にはならないか。</p>	<p>○ 同規模の「いきいき交流施設」の入札9件が同時期に集中したため、BC級12者では少ないと判断し、特例でD級まで範囲を広げた。</p> <p>○ 総合評価方式は昨年から試行し、昨年1件実施した。本年度は金額の大きなものから案件を選定し、5件程実施をする予定</p> <p>○ 算定方法は県と同様の方式を取っている。その算定方法の結果であり、このような形となる場合もある。 安くできるのにそこに落ちないという矛盾もある。</p> <p>○ 協定すれば最低制限価格を操作することは可能であると思う。現在算定方法の見直しを進めている。</p> <p>○ 問題となっている点などを考慮しながら、検討を進めていきたい。国の算定方式に準拠した新方式を考えている。</p> <p>○ 将来的には、価格と価格以外の評価点とで総合的に判断する方法が主流となっていくのではないかと。今すぐに全面導入とはいかない。</p>
	<p>議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 2 「平成22年度 小出一区いきいき交流施設新築工事」</p>	
	<p>○ この案件に限らず「いきいき交流施設工事」の発注時期が集中した理由はなぜか。</p> <p>○ 前案件にも関連するが、この「いきいき交流施設工事」において、発注区分が特例となるD級業者の落札事例は何件あったか。</p> <p>○ D級業者でも実際の施工に関して問題はなかったか。</p>	<p>○ この事業は、国の交付金事業であり、事業認可が同一時期であったため集中した。</p> <p>○ 3件であった。</p> <p>○ 問題はない。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いきいき交流施設工事」の発注時期が集中しているが、2件一度に同一業者が落札しても問題はないのか。</li> <li>○ 審査案件の1と2では、同様の工事であるにもかかわらず、落札価格に大きな開きがあるがなぜだと思うか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 複数落札しても技術者がいれば資格的に問題はない。建築工事の場合、下請けへ出す部分が多い。ただ特定の業者ばかりが落札するのは好ましくないので、最近実施した同種工事の入札は、一抜け方式を採用した。</li> <li>○ 入札期間が1週間ずれているため、入札結果等を参考に入札した結果ではないか。</li> </ul>
<p>議事 (1)審議  イ 抽出事案の審議 3  「平成23年度 道路改良関連 国道153号伊那バイパス第23-1工区 配水管布設替工事」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水道施設工事全般について、業者数の割には水道工事の発注量が少ないが業者は大丈夫か。</li> <li>○ 落札率が99%となっているが、工事の特殊性があるのか。</li> <li>○ 予定価格を超えている業者が多いが、水道工事はこのような傾向にあるのか。</li> <li>○ 予定価格を推測することは可能か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水道工事の場合、大部分が下水道工事に関連した工事発注となる。下水道工事が出ない期間は水道工事も少ない。これから発注量が多くなる予定。</li> <li>○ 水道施設工事の入札は落札率が高い傾向にある。水道の場合、材料代が主体である。特にこの案件については、ダクタイル鋳鉄管を使っているので見積価格も左右されたのではないか。</li> <li>○ C級業者の入札にはこのようなことがある。全者予定価格オーバーということもあった。</li> <li>○ 単価等の公表はされているので、予定価格に近い数字を積算できるのではないか。</li> </ul>
<p>議事 (1)審議  イ 抽出事案の審議 4  「平成23年度 防災行政無線デジタル化整備工事設計・監理業務委託」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入札参加資格に同種業務の設計実績を求めているが、新規参入はできないということか。</li> <li>○ 同種業務の実績を求めているにもかかわらず、入札価格に3倍以上の差が出ているのはなぜか。</li> <li>○ 今後もこの事業は継続していくのか。</li> <li>○ 今までの経過からして、次も同じ業者となるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同種業務の設計実績を有する者は、全国的にデジタル化工事が進められている点からも業者数は多いと思われる。実績がなければ入札はできない。</li> <li>○ 積算根拠の分析まではしていない。</li> <li>○ 今後、伊那地区の整備を行ない、平成25、26年度に高遠地区の工事を行う予定である。それで伊那市全域が整備される。</li> <li>○ 複数業者の入札の可能性のある限りは競争性がある方法をとりたい。地域要件を全国規模にするなど検討したい。</li> </ul>

<p>議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 5 「平成22年度 伊那市下水道台帳作成業務委託」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ この業務内容は電子データを台帳に蓄積していくものなのか。</li> <li>○ この業務は、随時入力作業ができるものか。</li> <li>○ 今後も随意契約で行っていくのか。</li> <li>○ メンテナンスのデータ入力は内部でできないのか。その辺が疑問である。</li> <li>○ アジア航測は、他の自治体での実績はあるのか。</li> <li>○ 毎年随意契約という形になっていくと思うが、落札率等は同じくらいなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工事の管渠データ(マンホールの位置、管渠の位置・管種径・勾配など)を電子データ化し、地図システムに反映させる業務である。</li> <li>○ 随時入力できればよいが、現状は一年間のデータをまとめて入力依頼している。</li> <li>○ 当初の業者決定はプロポーザル方法により決定した。システムが代わるまでは他業者ではできないのでやむを得ない。</li> <li>○ 内部入力もできるシステムになっているが、膨大な業務量であるため専門に別途人員が必要になる。人件費等を考えれば業者委託した方が経費が安い。</li> <li>○ アジア航測は全国規模の会社であり、同業務の実績を多く持っている。</li> <li>○ 毎年歩掛り等を作成し、市の設計単価で設計書等を整備した上で見積りを依頼しているので、設計価格は適性である。</li> </ul>
<p>議事 (1)審議 ウ その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最低制限価格制度の算定方法について、見直しをした方がよいとの意見が今回出された。なるべく早い時期に公表できるようお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ できれば11月頃には改正後の制度を施行したいと考えている。次回の検討委員会は新制度導入後となる予定なので報告をし、委員の皆さんにもご意見をいただきたい。</li> </ul>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>